様式第１５—１号（第２０条第１項関係）

令和　　年　　月　　日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構理事長　殿

 申請者　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 名 称

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　代表者

令和　　年度いばらきチャレンジ基金助成事業　事業化状況報告書

（新技術・新製品開発促進事業）

いばらきチャレンジ基金助成金交付要領第２０条第１項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　助成事業名

２　採択年度　　　令和　　年度

３　調査年度　　　令和　　年度（令和　　年４月１日～令和　　年３月３１日）

４　事業化状況及び売上計上の有無（いずれかの該当する項目に[x] を入れて必要事項を記載してください。）

(1) 製品化・実用化状況について

[ ] 　製品化・実用化できた（製品化・実用化時期：　　　年　　月）

[ ] 　具体的に製品化・実用化の予定がある（製品化・実用化予定時期：　　年　　月）

[ ] 　製品化・実用化には至っていない(理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(2) (1)で「製品化・実用化できた」と回答した方にお尋ねします。

開発した新製品・新技術について、取引や販売につながりましたか。※複数回答可

[ ] 　国内取引・販売につながった（別表を記入してください。）

[ ] 　海外取引・販売につながった（別表を記入してください。）

[ ] 　折衝中

[ ] 取引・販売に至らない

別表

|  |
| --- |
| 調査年度の実績（単位：円） |
| 区分 | 技術・製品等名称 | 販売・取引開始時期 | 取引・販売国 | ＠単価(A) | 販売数量(B) | 売上(C)((A)×(B)) | 製造・販売に要した経費（D） | 収益(E)((C)-(D)) |
| 国内 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 国内 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 国内 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 国内 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 海外 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 海外 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 海外 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 海外 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

※収益がプラスの場合は、収益納付額報告書（様式第16号）も提出願います。

５　当事業終了後に取得した産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権及び商標権）

　　登録番号等：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）